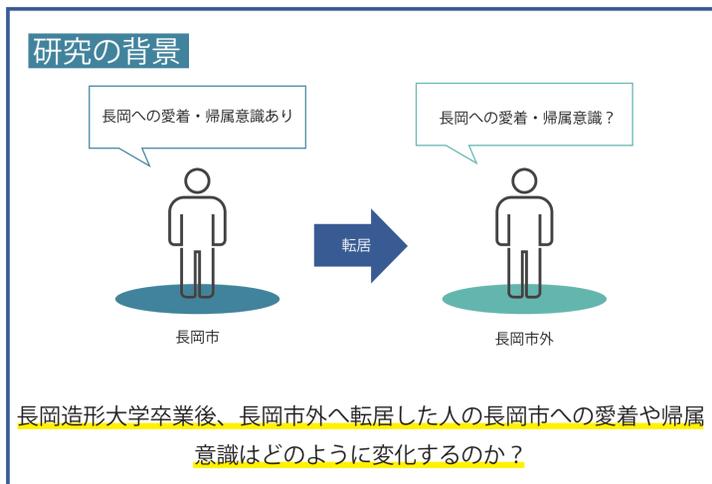


## 01 研究の背景と目的



### 研究の目的 1

長岡市から転居した人の愛着・帰属意識の変化を明らかにする

### 研究の目的 2

長岡市から転居した人の愛着・帰属意識の変化の要因を明らかにする

## 02 研究の仮説

### 既往研究より

#### 愛着の規定要因

- ・サードプレイスの有無
- ・地域の人との関わり
- ・場所の想起
- ・地域風土との接触

#### 帰属意識の規定要因

- ・地域団体への所属
- ・居住年数
- ・地域愛着

### 仮説 1

長岡造形大学を卒業し、長岡市外に転居した学生は大学在学時に比べ、愛着や帰属意識からなる長岡市に対する認識は低下する

理由：長岡市から転居することによって長岡市の地域風土との接触が減少するから

### 仮説 2

長岡市のお気に入りの場所の有無や長岡市に知人、友人がいるかなど、長岡市とのつながりが減少した人ほど長岡市に対する認識の低下が顕著になる

理由：愛着・帰属意識の規定要因の向上は愛着・帰属意識への向上に影響を与えていることから、逆に規定要因の低下が愛着・帰属意識の低下をまねくと考えられるから

## 03 研究方法

### 調査

#### 調査概要

調査期間：11月18日～11月30日  
調査方法：アンケート  
調査対象：長岡造形大学卒業生

### 分析

#### 1. 現在と大学在学時の比較

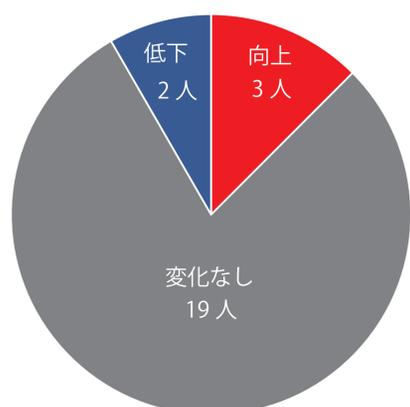
卒業後の愛着・帰属意識の変化を明らかにする  
愛着・帰属意識の規定要因の変化を明らかにする

#### 2. 規定要因と愛着・帰属意識の変化の比較

愛着・帰属意識に影響を与えている規定要因を明らかにする

## 04 調査の結果（愛着・帰属意識の変化）

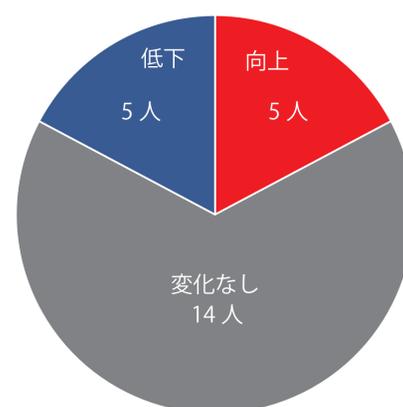
### 愛着の変化



→大半の人が変化なし

愛着の要素のうち「景観の認知」・「行政の認知」に変化が起きやすい  
長岡市の人口密度以下の地域に転居した人に愛着の向上が、長岡市よりも人口密度が多い地域に転居した人に愛着の低下が起きやすい

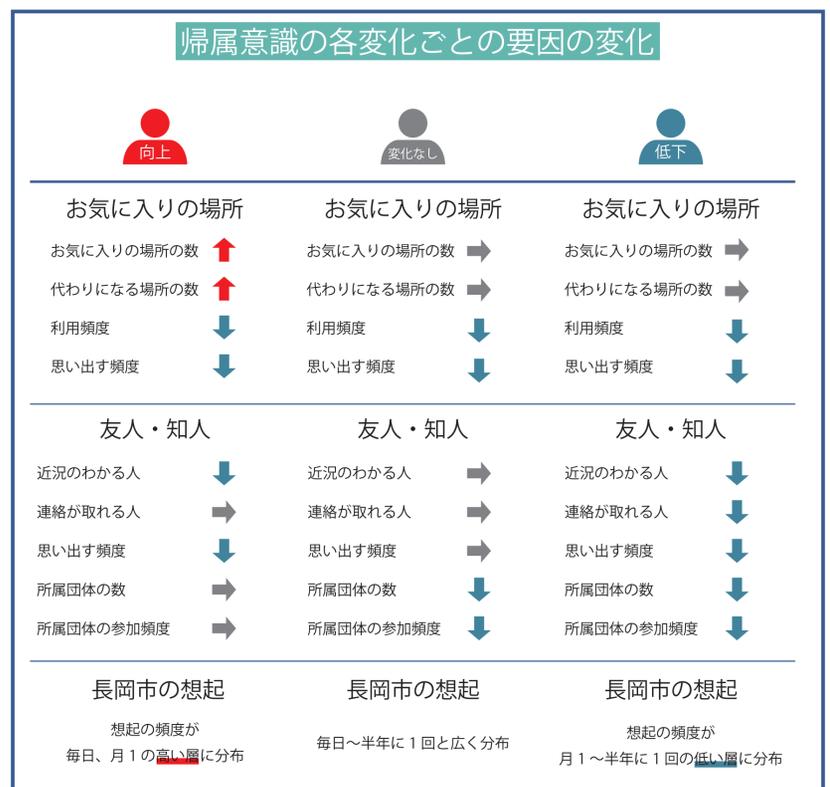
### 帰属意識の変化



→大半の人が変化なし

長岡市よりも人口密度が多い地域に転居した人に帰属意識の低下が起きやすい

## 05 調査の結果（変化の要因について）



愛着の変化の要因＝長岡市の想起

愛着の低下に影響＝連絡の取れる友人・知人の人数の減少

帰属意識の変化の要因＝長岡市の想起

帰属意識の向上に影響＝お気に入りの場所の増加

お気に入りの場所の代わりになる場所の増加

帰属意識の低下に影響＝連絡の取れる友人・知人の減少

## 06 考察

### 目的 1

長岡市から転居した人の愛着・帰属意識の変化を明らかにする

大半の人は愛着・帰属意識に変化がないことが明らかになった

### 目的 2

長岡市から転居した人の愛着・帰属意識の変化の要因を明らかにする

長岡市への愛着・帰属意識の変化の要因が明らかになった

### 仮説 1

長岡造形大学を卒業し、長岡市外に転居した学生は大学在学時に比べ、愛着や帰属意識からなる長岡市に対する認識は薄くなる

大半の人が変化がなかったため 不支持

### 仮説 2

長岡市のお気に入りの場所の有無や長岡市に知人、友人がいるかなどの長岡市とのつながりが少ない人ほど長岡市に対する認識の薄れが顕著になる

認識の変化に応じた変化がみられる要因があったため 支持

## 07 提案

### 「Kata Log」

お気に入りの場所共有サイト

**目的**

1. 長岡市を思い出すきっかけをつくる
2. 思い出す対象を増やす

→長岡市への認識の低下を緩和する

**対象**

1. 長岡造形大生
2. 長岡造形大卒業生



**機能①：お気に入りの場所を探す**



**機能②：お気に入りの場所を共有する**



**機能③：関連情報にとぶ**

